

我孫子市消費者の会

お知らせ

2011年12月21日 第37期 No. 9-426号

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syouhisyanokai.com/>

県民提案事業終了

「免疫力をつける生活」～きれい社会の落とし穴～アトピーからがん・放射能まで

12月17日(土) 藤田紘一郎先生の講演と悪質商法の寸劇を行いました。

藤田先生のお話は笑いも免疫力を高めるということで、笑っぱなし。「如何にしてみんなを笑わせようかと昨日から考えてきた」とおっしゃるので、そこでまた笑いました。でも、「きれい社会の落とし穴」が、花粉症、アレルギー、がんまでも。合成洗剤を始め、きれいすぎにするのは良くないとのことでした。

裏面に当日のレジュメを印刷しました。お読みください。

1月定例会

日時 1月5日(木) 11:00~16:00

会費 500円

会場 我孫子南近隣センター8F 調理室

年に1回、昼食を取りながらの定例会です。どなたでも参加できます。参加申し込みは、12月28日まで和田へ。

2月定例会

日時 2月6日(月) 13:30~16:00

会場 我孫子南近隣センター8F 和室

バス見学会のお誘い

行先 ・キューピーマヨネーズ・道の駅ごか
・エフピコリサイクル工場

日時 1月23日(月) 8時20分

集合 我孫子北口 ふれあい広場前

昼食 道の駅ごかで昼食(費用1,200円程度)

申込 1月4日までに和田へ。 7183-1434

先着 35名

まだ若干の余裕があります。どうぞお申し込みください。

食肉料理講習会

千葉県食肉事業連合会の主催で、料理講習会を行います。ふるってご参加ください。

日時 1月31日(火) 9:30~14:00

場所 アビスタ調理室

持参 エプロン・バンダナ 筆記用具

申込 先着 25名 1月4日までに和田へ。

参加費 無料 こちらも若干の余裕があります。どうぞお申し込みください。

崎山比早子さんの講演会

消連協で行った崎山さんの講演会を是非我孫子でもと言う声があり、「さようなら原発 1000万人アクション 我孫子市民実行委員会」が企画しました。お正月早々ですが、お誘い合わせ是非ご出席ください。チラシを配布します。

日時 1月7日(土) 10:30~

開場 市民プラザ・ホール

先着 200名

参加費 500円

放射線量を測りませんか

我孫子市は、東葛地区の放射線のホットスポットです。隣の柏市はマスコミでも取り上げられています。そこで市は、放射線測定器を60台用意し、市民に貸し出しています。

自分で測定し、本当のことを知って、対処の方法を考えましょう。

手賀沼課の放射能対策室へ電話し、借りたい

日を申し込みます。当日は午前9時から9時30分の間に、西別館の4階に行き、はかり方を教えてもらって借ります。夕方4時までには必ず返却してください。

消費者の会でも、栗原さんが26日、加藤さんと和田が1月13日に借りて、それぞれ測ります。消費生活展でも借りて展示する予定です。

消費生活展にお手伝いを

テーマ 「3.11大震災 その後あなたは・・・」

日時 2月11日(土) 12日(日)

10:30~16:30 担当者は10時集合

会場 あびこ市民プラザ エスパ3F

4月から検討を重ねてきたパネルや手作りコーナー等が準備できました。この中で、受付や手作りコーナー、賞品渡し等、仕事がいっぱいあります。是非、時間を作ってお手伝いしてください。昼食は準備しますので、和田へお申し出をお願いします。

生活展のチラシは1月に配布します。

甘夏みかんの共同購入

水俣病で苦しんだ方達が、安全な甘夏みかん作りに取り組んで30年以上でしょうか。今年も共同購入します。

10kg 2,500円

申込みは7182-7935 中村治子さんへ。

締め切りは 1月末日まで

到着は 2月の第4月曜日頃

今年の注文書に、水俣病患者家庭果樹同志会の代表 佐藤英樹さんの文章がありました。転載させていただきます。農薬渦の水俣病で苦しんだ方達が、困っている人達への思い、国の政策で進めてきた原発に反対する思いが綴られていました。

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

今年の春も皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。(中略)

今年はとても悲しい出来事がありました。

3月11日、東北地方、関東地方を大地震と大津波が襲いました。たくさんの方が亡くなりました。新聞・テレビを見て、涙が止まりませんでした。とても残念でなりません。心よりお悔やみを申し上げます。

被災者の皆様に何か私達に出来ることはないだろうかと考え、水俣病患者さんが集まり、「ほ

たるの家」で支援物資を皆に呼びかけ、沢山の物資が集まりました。同志会は甘夏みかん、パール柑、防寒着などを2トントラックに積み込みました。「ほたるの家」の谷さんが山形県まで運び、そこで物資は振り分けられ被災者の皆様に届けられました。

そして11月2日～6日までの日程で東京と福島を回って帰ってきました。福島には水俣病被害者互助会の私と、事務局の谷さん、支援者の山下さん、3人で回りました。川内村、浪江町、飯館村に行きました。飯館村には老夫婦に会いました。村に残り生活をしていました。「この村にはほとんど誰もいない。寂しい。自分達はもう年だからどこにもいかない。ここで死ぬ」と言っておられました。私達はとてもせつない気持ちがこみ上げました。

私達は原発には反対です。国はただちに原発を止めて自然エネルギーに変えていくべきです。原発をこのまま続けたら、私達は、日本国民は、日本に住めなくなってしまいます。2度とこのような大惨事をおこしてはなりません。私達は自然エネルギーに変えていくべきだと強く思います。

(追伸)南相馬にも行きました。そして福島市にも行き、飯館村の人と交流会をしました)。

今年の作柄は、雨にも恵まれみかんは順調に育ちました。甘酸っぱい甘夏みかんを食べて、元気を出してください。

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

12月の定例会では会員の寺田久美子さん(浪江町出身、双葉町に実家)から、双葉町に一時帰宅された時の双葉町の様子を聞かせていただきました。一夏を過ぎた双葉町は、セイタカアワダチソウが生い茂り、痩せた牛が歩いていたそうです。家はほとんど損傷なく残っているが、帰ることは出来ないだろうと覚悟した、と声を詰まらせてお話をいただきました。

寺田さんはその後、手賀沼ファームのサツマイモを福島の仮設住宅へ届けに行かれました。

* * * * * * * *

激動の1年が終わります。情報の確かさがどう伝えられているかを痛感した年でもありました。

来年もよろしく。

お元気で！！

